

里山コモンズクラブ通信 2019 春夏号

みなみやま

Satoyama Commons Club News MINAMIYAMA

NPO
南山の
く自然を
守り育てる会

里山コモンズクラブ
通信「みなみやま」は
NPO 法人南山の自然
を守り育てる会の活
動案内です。
<http://ina-mina.com/>

●お問い合わせ先

発行・責任者: 梁川貴司、編集・責任者: 小部正人

「八王子サンショウウオ視察報告書」



3月28日、南山の自然を守り育てる会と区画整理組合関係者の有志で、八王子/自然保護団体の五味さんに、トウキョウサンショウウオを保護している現地の見学を案内していただいた。今年は雨が少なく、サンショウウオも産卵場所の池まで移動し難く、産卵数も少な目の事。

最初に見た池では、サンショウウオよりヤマアカガエルやアズマヒキガエルが多く産卵し、それらの幼生(オタマジャクシ)も孵化していた。池の周囲には針金と黄色いテープで柵が作られていた。これはイノシシなどが悪さをせぬように、警戒色で侵入を防ぐもの。電流柵もあるが、これらでも充分役に立つという。むしろ最近の悩みは業者による盗難。また光量の強いLEDライトの街灯が増え、サンショウウオが警戒して産みにこなくなったともいう。

池には近くの沢からホースを継ぎ足して、水を1日5立米供給する。水源と放出場所の高低差がある為、途中に凹凸があってもサイホン効果で水が出る。但し時々ドジョウ等が管に詰まるので、見回りして途中から抜かねばならないとの事。かつて谷戸の棚田などには水を一時ためる仕組みが在った。ここでは替りに、水路に朽ちにくい栗の木で段差など作ってある。水面には杉の葉などを入れ、上から隠すことでサンショウウオが産卵しやすくしている。日当たりの悪い池は樹木を伐採して明るくするなど、環境改善もした。保護池などの土地は所有者が在る私有地だが、こうして整備を続ける条件で地権者から信頼を受け、無償貸与の様態にあるという。池にはサンショウウオ以外にヤマアカガエルやモリアオガエル、またカキツバタ、コウホネなど希少となった動植物も生育。水辺から湿地、陸地へと段階的に変化する「エコトーン」等により多様な生物の保護環境となって居る。

もし砂質の南山で、人工的に浸透しにくい水路を作るとしても、コンクリート底では溶出する化学物質でサンショウウオは死滅する。どうしても使うのなら最低一年は、川の水などに晒す事が必要という。以前に視察した産卵池では、植物が侵入し産めなくなった場所もあると伺った。サンショウウオ生存のための管理の大切さを学んだ見学会であった。(桜井)



手のひらの上のサンショウウオ



サンショウウオの卵

「竹の子掘り」

恒例の南山でのタケノコ掘りを今年も開催しました。当初の予定では、4月14日(日)、21日(日)、28日(日)と3回行う予定でしたが、タケノコの生育が悪く地域の参加者を募集して開催できたのは、4月21日(日)の一回だけでした。

4月21日は、14日が中止のために参加できなかった人も加わり、12家族44名の参加者で竹林は大賑わいのタケノコ掘りでした。その後、希望者は奥畑谷戸公園事務所に行き、掘ったタケノコを湯がいてあく抜きしたり、朝に掘ったタケノコであらかじめ料理してくれていたタケノコご飯や焼きタケノコを食べて季節の味を楽しみました。



家族一緒にタケノコ掘り

4月28日もタケノコ掘りを予定していましたが、出ているタケノコが少ないためと事前にスタッフが確認してくれていたタケノコが盗掘されていたために中止となりました。竹林はフェンスなどで囲ってあり、土地区画整理組合の管理地であり無断で入らないようにと看板が出ているのですが、盗んでいった人がいるようです。

昨年はタケノコが豊作で、一回目は既に大部伸びたタケノコも多かったのですが、今年は開催日を早めましたが一回だけとなりました。今年の冬は雨量が少なく、春の訪れも昨年より遅かったせい、4月14日は、まだ、タケノコが出ておらず中止。28日も上記の事情により中止。やはり、自然の恵みは予定どおりにはいきません。(小部)

雑記帳

諏訪湖畔に鎮座する諏訪大社に参詣した時のことである。諏訪湖に沿ってぐるりと一回りしている道路を車で走っていると、一羽のカラスが白い木の实の様なものをくわえて街路樹の中から飛び出してきた。そして道路にポンとそれを放り出した。どうやら車に木の实を割らせて食べているようなのだ。

数年前に仕事で蓼科に行ったときにタクシーの運転手さんから聞いた話を思い出した。「この辺のカラスは道路に木の实を置いて、車に実を割らせて食べるんですよ。」と。

諏訪も蓼科もおなじ長野である。長野のカラスは木の实のわり方を教えあっているのだろうか？

ところかわって、稲城のカラスがゴルフボールをくわえて飛んでいるのを家人が見たという。一体、何に使うのであろうか？

(木場)



ハシボソガラス
写真共有サイト「フォト蔵」より

新会員の仲間募集

里山保全活動やオオタカ、サンショウウオの希少種調査など、
会員として一緒に活動しませんか？

場所：稲城市奥畑谷戸公園事務所 毎月第1日曜日10時から運営会
入会申込先：NPO南山の自然を守り育てる会
事務局：梁川(やながわ)携帯090-6658-7611
メールアドレス inagi_minamiyama@googlegroups.com

会報記事提供のお願い

普段、何かと忙しくて会活動にあまり参画できない！！ でも少しは会に貢献したい！！ そんな会員の方はおられませんか？ 私たちの会報を皆さんの力でもっと充実させませんか？ 何でも結構ですので、記事の提供をお待ちしています^^ 広報担当 小部